

福井の青年農業者たちによる 意見交換大会が開催されました！

高志みどりクラブは、自己研鑽や仲間意識の高揚を図ることなどを目的に、県内各地域で組織されている青年農業者クラブの一つです。福井市、永平寺町で農業に取り組む方や就農を希望する20～30代の16名が参加しています。

このクラブでは、会員同士の情報交換や新規就農者への相談活動、そして、より良い技術を検討するためのプロジェクト活動や、先進的な農業の視察研修等を行っています。

また、毎年、県内の他地区の青年農業者との情報交換や交流を行うことを目的に、「福井県農業青年交換大会」が開催されています。令和2年1月31日に福井地区において開催された大会では、青年農業者の意見やプロジェクトが発表されたほか、県内外の農業関連資材メーカーによる展示、相談会が行われました。



福井県農業青年交換大会



プロジェクト活動による新たな技術の実証
(育苗技術と土壌改良資材の検討)

さらに、令和2年11月には「2020年度全国農業青年交換大会in 福井」が開催され、全国から約300名の青年農業者が参集する予定です。全国各地の青年農業者との意見交換や交流を深め、福井の青年農業者やクラブの活動がより一層盛り上がることを期待しています。

高志みどりクラブの活動に興味がある方、参加を希望される方は、農業経営支援部までお問い合わせください。
(農業経営支援部 高田)

F-mailプレゼント

アンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で3名様に「企業組合 新ちゃんみそ」の「大豆のお菓子」をプレゼントします。氏名・年齢・性別・住所・電話番号・アンケートの回答をご記入の上、郵便はがきまたはメールでご応募ください。

はがきの宛先 〒910-8555 福井市松本3丁目16-10 福井農林総合事務所企画振興室

メールの宛先 fuku-noso-kikaku@pref.fukui.lg.jp

締め切りは令和2年3月13日(金)です。賞品の発送をもって当選発表とさせていただきます。賞品は3～4月に発送する予定です。
(企画振興室 村北)

- Q1. あなたはF-mailをどこで入手しましたか？**
- Q2. あなたはどれくらい農林業に携わっていますか？**
1.週に5～7日 2.週に3～4日 3.週に1～2日
4.ほとんどしていない
- Q3. F-mail今月号で良かった記事(複数回答可)**
1.森林の授業 2.農業の授業 3.「新ちゃんみそ」法人化
4.足羽川用水スタンプラリー 5.青年農業者
- Q4. 今後のF-mailに希望すること(自由記述)**

福井県 発行:福井県 福井農林総合事務所
〒910-8555 福井市松本3丁目16-10(福井合同庁舎内)
TEL 企画振興室(直通) 0776-21-8201
農業経営支援部(直通) 0776-21-8209
林業部(直通) 0776-21-8213
農村整備部(直通) 0776-21-8216
E-Mail: fuku-noso@pref.fukui.lg.jp

F-mail

No.61
令和2年2月発行

福井農林総合事務所だより

次世代を担う小学生に、森林の大切さを伝えよう！

地域の森林や保安林の重要性や治山事業について理解を深めてもらうため、令和元年10月8日、福井市立鷹巣小学校5年生を対象に、福井市免鳥町の保安林で、治山現場見学会を開催しました。

初めに、児童たちには教室で、森林や保安林の役割および治山事業、松くい虫について学んでもらいました。

保安林とは、人々の生活の安全・安心を保つための森林です。土砂の流出防止等、その目的によって17種類あり、その働きが失われないように伐採等の制限がなされています。

大切な役割を持つ保安林ですが、松くい虫の被害が多発しています。松くい虫とは、マツノマダラカミキリの体の中にいるマツノザイセンチュウのことです。カミキリがマツへ飛び回ると、そのセンチュウもマツに移動し、マツを枯らしてしまいます。そのための対策についても学んでもらいました。

鷹巣地区にも保安林があることを初めて知りました。



抵抗性アカマツを植栽

私たちが植えたマツの木が大きく育って、立派な保安林になってくれることを願っています。

次に、保安林に移動して、枯れたマツの伐倒駆除の実演見学や、福井県で開発した松くい虫に強い抵抗性アカマツの植栽実習を行いました。ほとんどの児童は木を植えることが初めてだったため、慣れない手つきでしたが、しっかりと植栽ができました。ただ今、順調に成長しています。
(林業部 吉田)

さらに、令和元年9月から12月にかけては、緑の少年団に加盟している福井地区の小学校6校で、森林の働きについての授業、間伐現場での伐採見学、林業機械(ハーベスタ)の操作体験を実施しました。

児童たちは、伐採時の迫力に驚き、生木を切ることの大変さを体感するとともに、一瞬で伐り倒してしまう林業機械の性能に関心を持ったようでした。

この体験を機に、子どもたちが森林・林業に関わる職業に興味を持ち、次世代の担い手として育ってくれることを期待しています。

(林業部 小藤)

木は二酸化炭素を吸って成長すると聞いたので、家を買うときは環境に優しい木を使った家を買いたいです。



間伐木の重さを体感

なぜ海岸線にマツの木が植えられているのかわからなかったけれど、その理由が分かりました。



保安林について説明

お手本では簡単そうに木を伐っていたけど、実際にやってみると難しかった。毎日、間伐をする人は大変だと思います。

次世代を担う小学生に、福井の農業の誇りと魅力を伝えよう!

平成11年に着工した九頭竜川下流地区の農業用パイプライン事業が完了し、平成28年4月から九頭竜川鳴鹿大堰から取水するきれいで冷たい水が、約1万2千ヘクタールもの農地に安定供給されています。

このパイプラインを含め、日本の生産基盤を備えた九頭竜川流域の農業を広く知ってもらうため、出前授業を実施しています。当事務所職員がゲストティーチャーとして、学校に出向いて授業や体験学習に参画し、福井の農業を児童に分かりやすく伝えています。令和元年度は、福井市および永平寺町の小学校10校で実施しました。

出前授業の一例 福井市啓蒙小学校5年生



最先端に行く
福井の農業を説明

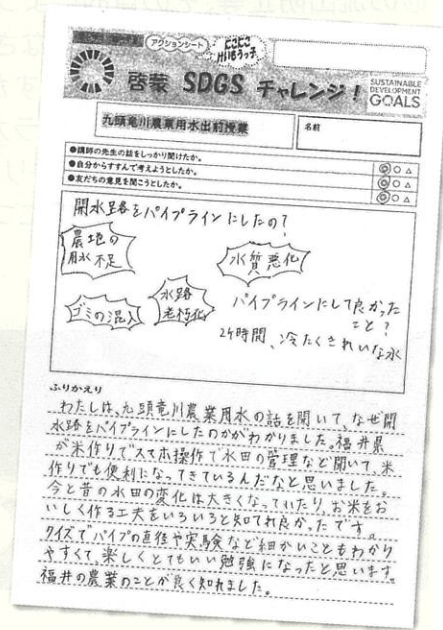
グループ討論・発表

無人トラクタ
試験映像の視聴

パイプラインの
仕組みを観察

【参加された方々の感想(抜粋)】

- 先生**
- 社会科の教科書で学んだことが、出前授業での分かりやすい話や実験等を通して、実感をもって理解することができました。
- 児童**
- 福井の米作りの技術はとても進んでいて、すごいと思いました。
 - 用水路には、開水路と管水路（パイプライン）があり、それぞれの利点と欠点がよく分かりました。
 - パイプラインの仕組みの実験が面白かったです。
 - これからは無人トラクタの使用やスマートフォンでの水管理等を進めていくと聞き、SFみたいだと驚きました。



学校田での稲刈り・はさがけ体験 福井市西藤島小学校5年生



はさがけ準備

はさがけ

はさがけ完成
全員で記念撮影

※令和2年度に、学校教育で「出前授業」を取り入れてみたい先生方は、農村整備部計画管理課までご連絡ください。

(農村整備部 古川)

清水の大豆加工グループ「新ちゃんみそ」が法人化しました!

福井市清水山町の大豆加工グループ「新ちゃんみそ」が、販路拡大と、後継者が安心して働ける体制づくりのため、令和元年10月に法人化し、新たに「企業組合 新ちゃんみそ」としてスタートしました。

「新ちゃんみそ」は、清水山町新保区の女性達が始めたことをきっかけに結成され、約40年にわたって活動しています。結成当初から一貫して地元の大豆・米を100%使用するなど、地場産品での手作りの味噌づくりにこだわっています。長年、地域の味として愛され、今でも直売所や学校給食で好評を得ています。

最近では、「きなこ豆」「揚げ豆」「しょうが豆」といった手作りの大豆菓子や、木のせいろでじっくり蒸しあげた「蒸し大豆」を商品化するなど、新たな商品づくりにも取り組んでいます。

「新ちゃんみそ」の商品は農産物直売所「丹生膳野菜」、ハピリン「福福館」のほか、県外では県アンテナショップ「ふくい南青山291」「食の国 福井館」などで販売されています。

(農業経営支援部 中村)



「新ちゃんみそ」メンバー



(商品左から) 蒸し大豆、きなこ豆、揚げ豆、しょうが豆、新ちゃんみそ、大豆のお菓子

世界かんがい施設遺産 足羽川用水体感スタンプラリーを開催しました!

平成28年11月、県内で初めて、足羽川用水が世界かんがい施設遺産に登録されました。「足羽川用水」の歴史的・技術的・社会的価値を県民の方に広く知っていただき、関心を持ってもらうために、昨年に引き続き、令和元年11月3日に足羽川用水の関連施設を巡るツアーを開催しました。

今年度は、スタンプラリーやクイズなどのゲーム的要素と、昔の農具の展示といった文化的要素を新たに追加し、子どもやリピーターの方も楽しめるよう工夫しました。当日は好天に恵まれ、家族連れを中心に約100人が、用水周辺の自然や歴史を楽しみながら、約5キロのコースを巡りました。



自由散策(徳光用水路)

施設紹介(除塵機)

スタンプラリー(酒生調節水門)

昔の農具展示

【参加された方々の感想(抜粋)】



- 用水路の水がきれいなので魚がいっぱいいた。(10歳未満女性)
- 歴史を学びながらスタンプラリーができて良かった。(10代男性)
- 普段見ることのない施設を見られて、良い体験だった。(40代女性)

今後も、施設管理者である足羽川堰堤土地改良区連合と当事務所が連携し、足羽川用水の世界的価値を広く知ってもらうための活動を行っていく予定です。

(農村整備部 古川)